

# 牛久：学校周辺に見る自然

第15号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年5月31日発行

## ＜ 初夏のみずべ公園 ～⑥その他の樹木 ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きもの観察。前号までいくつかの樹木とそこに来ていた虫たちを紹介しましたが、今回はそれ以外の樹木の紹介です。



よく似た、イヌシデ（左）とアカシデ（右）。果実の形や、葉の脈の数などで見分けられる。

緑色の果実の穂がぶら下がっている木があります。秋に茶色になって、風がふくとちぎれ、クルクル回りながらゆっくりと落ちてきます。よく見ると2種類あって、葉の脈の数や果実の形、それにつく虫こぶの種類などで見分けることができますが、写真左がイヌシデ、右がアカシデです。



よく似た、イヌザクラ（左）とウワミズザクラ（右）。花の穂の下に葉がついているかどうかで見分けられる。

こちらも互いに似ているさくらの仲間、イヌザクラとウワミズザクラ。見分け方はいろいろありますが、花の穂の下に葉がついているのがウワミズザクラです。ここではウワミズザクラの方が花の時期がやや早く、緑色の果実がふくらみ始めていました。

最後に名前だけ。赤い実のウグイスカグラ。それにヤマボウシとオオムラサキツツジの花です。

【理科支援員：宮内】



ウグイスカグラの赤い実（左）とヤマボウシ（中）、オオムラサキツツジの花（右）。